

# 豊川市ファシリティマネジメント 公共施設中長期保全計画ニュース

豊川市総務部管財契約課

電話 0533-89-2108 FAX 0533-89-2163

http://www.city.toyokawa.lg.jp/shisei/gyosei/  
unei/manejiment/facilitymanagement.html

## ■第2回 ファシリティマネジメント推進会議を開催しました

平成27年7月30日（木）に第2回ファシリティマネジメント推進会議を開催しました。

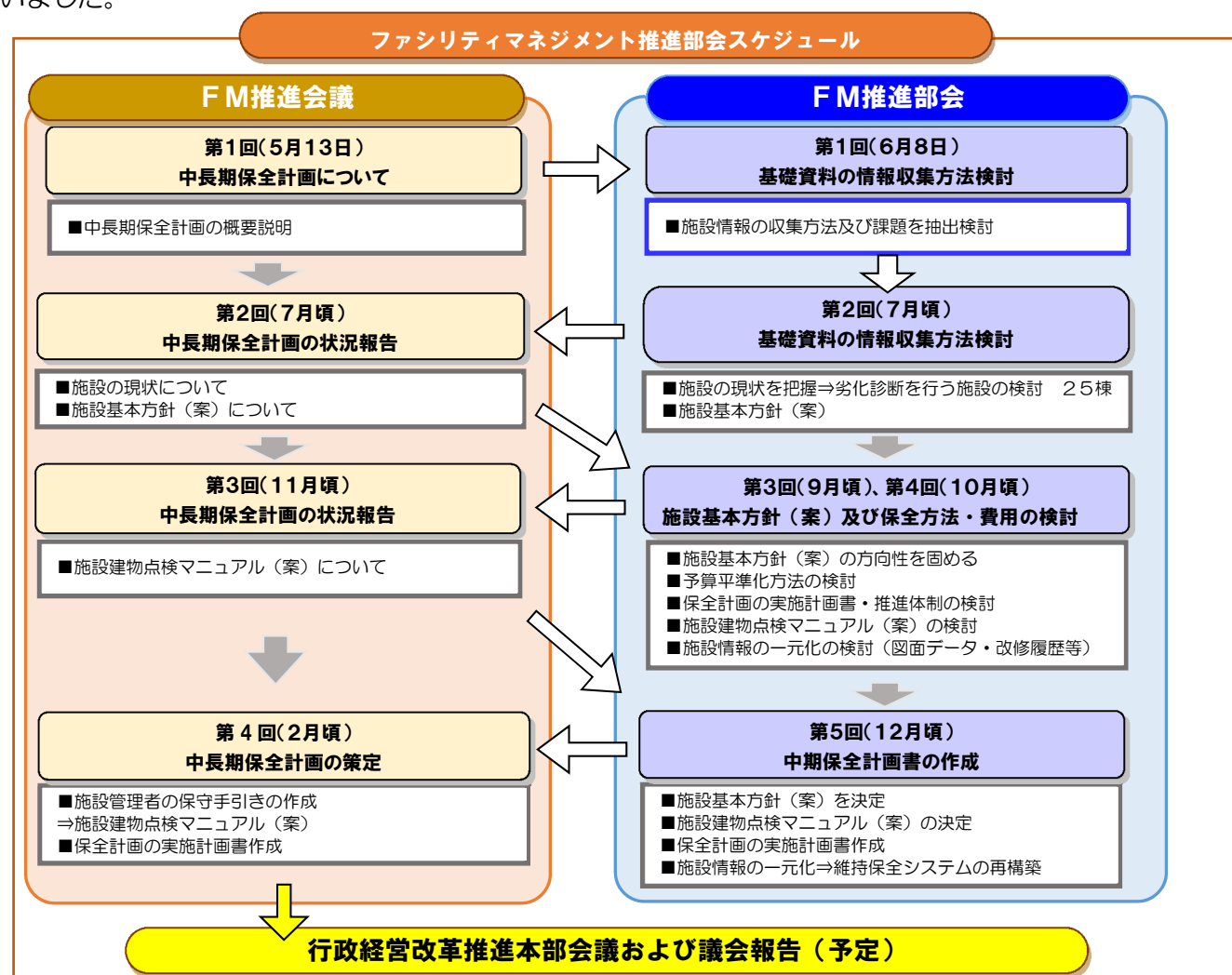
公共施設中長期保全計画ニュース第1号でもご案内したとおり、この会議は、豊川市におけるファシリティマネジメントの今後の指針のひとつである「中長期保全計画」の策定に向けて議論する会議です。今回の会議では平成27年6月8日（月）、平成27年7月6日（月）に開催された、以下の推進部会の内容を踏まえた会議が行われました。

| ファシリティマネジメント<br>(公共施設中長期保全計画策定のための委員会) |          |
|----------------------------------------|----------|
| 推進会議                                   | 推進部会     |
| 第1回(5/13)                              | 第1回(6/8) |
|                                        | 第2回(7/6) |
| 第2回(7/30)                              |          |

## ■第1回 豊川市ファシリティマネジメント推進部会【6月8日(月)】

第1回豊川市ファシリティマネジメント推進部会では、公共施設中長期保全計画の概要と今後のスケジュールについて、相互に確認を行いました。

議事：(1) 豊川市公共施設中長期保全計画の概要について  
(2) 豊川市公共施設構造体耐久性調査について



## ■第2回 豊川市ファシリティマネジメント推進部会【7月6日(月)】

- 議事：(1) 前回の議題に対する回答について  
(2) 豊川市公共施設中長期保全計画について  
(3) 豊川市公共施設構造体耐久性調査について

### 豊川市公共施設中長期保全計画について

今年度、点検対象となる25棟の建築物について、劣化状況やその他の問題点等を安全性、機能性などの観点から目視により劣化調査を行うこととしました。

劣化調査は、「建築物点検マニュアル・同解説」の66項目について、点検マニュアルチェックシートにより、建築物の「劣化」の判定基準に基づき実施します。



劣化調査の状況写真

## ■第2回 豊川市ファシリティマネジメント推進会議【7月30日(木)】

- 議事：(1) 中長期保全計画の基本的事項（案）と長寿命化対象施設の選定及び今後の取り組みについて  
(2) 施設情報の収集について  
(3) 定期修繕と大規模改修の周期について  
(4) 劣化調査方法と調査結果による工事優先順位付け方法について  
(5) 構造体耐久性調査結果の報告と評価別の今後の取組方法について

### 中長期保全計画の基本的事項（案）と長寿命化対象施設の選定及び今後の取り組みについて

中長期保全計画における長寿命化対象施設は、適正配置計画により定めた施設から、右図に示します3つの視点を踏まえた上で、毎年、対象施設の見直しを行うこととしました。

**長寿命化対象外施設**  
→施設調査結果を踏まえ、施設の複合化、周辺施設への機能移転等の検討（長寿命化対象外施設については、安全管理のための簡易点検を実施します。）

#### 適正配置計画の対象施設 (206 施設 427 棟)

フィードバック

#### 中長期保全計画

##### 対象施設の見直し（毎年実施）

3つの視点

- ① 3つの重点取組と6つのリーディング事業の推進による施設の見直し (適正配置計画)
- ② 技術的な要因による施設の見直し (耐久性調査結果)
- ③ 各課の施設長寿命化計画を参考とした施設の見直し (施設長寿命化計画)

長寿命化対象施設→劣化調査を実施

## 施設情報の収集について

これまでに各所管課から収集・整理した資料等について、効率的な維持管理を実践するために、スキャンデータを施設情報として一元管理し、情報の蓄積を図ることとしました。

共有フォルダ



竣工図、修繕履歴等  
スキャンデータ

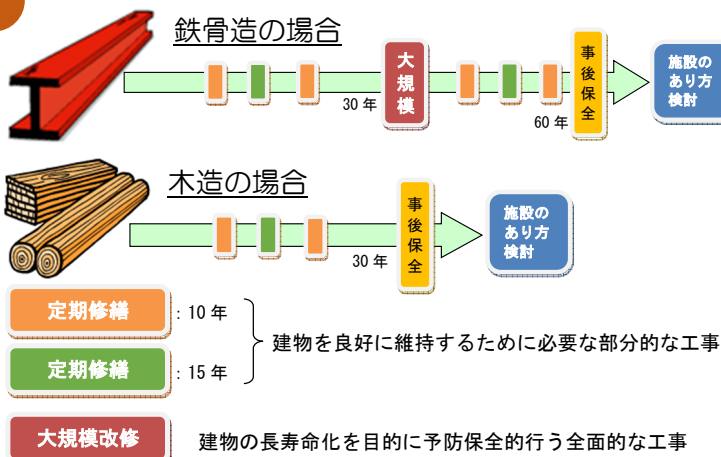
## 定期修繕と大規模改修の周期について

建物の長寿命化に向けて、今後は定期修繕及び大規模改修を実施していきます。

※RC造の築30年目、60年目は、構造体耐久性調査を実施し躯体の状態確認を行います。

※既存施設に関しては、このイメージに当てはまらない場合もあります。

※施設の種類によっては、関連計画で示す耐用年数に合わせることも考慮します。



## 調査結果による工事優先順位付け方法について

保全計画の作成に際して、大規模改修や修繕等を行う際の優先性の評価として、以下の評価項目から総合的に判断していきます。これらの評価項目から、工事優先度の高い施設を選定していきます。

### 【判断要素】

施設の安全性 : 危険が迫っている

施設の劣化程度 : 直ちに修繕が必要

施設の重要度 : 医療施設、消防署 等

### 【優先度大】



### 【優先度小】



安全性が保たれている

問題なし

その他市有建築物等

## 構造体耐久性調査結果の報告と評価別の今後の取組方法について

既存施設の長寿命化に向けて、この先いつまで使用することができるか、構造体の劣化の程度からその耐久性を調査することを目的に公共施設構造体耐久性調査を実施してきました。

今後は適正配置計画における重点施設について耐久性調査を行い、長寿命化の要否を判断します。

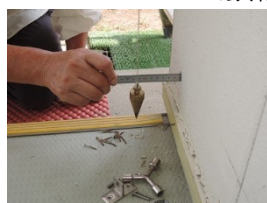
＜コンクリート造の場合＞



コア抜き調査



鉄筋の腐食調査



柱の傾斜調査

＜鉄骨造の場合＞



鉄骨腐食度調査

### ＜問い合わせ先＞

豊川市総務部管財契約課

電話 0533-89-2108 FAX 0533-89-2163

<http://www.city.toyokawa.lg.jp/shisei/gyoseiunei/manejiment/facilitymanagement.html>